

※ 今週のアウトルック(2/14~2/18)

先週木曜日までは円安が進みましたが、金曜日に大きく円高に振れました。ウクライナ情勢の緊迫が一気に高まったことが理由のようです。

今週は、ウクライナ情勢に大きく左右されそうです。特にロシアが侵攻を開始した場合には、急落に対する注意が必要のように思います。

先週のドル円は木曜日までは円安が進んだものの、金曜日NY市場の後半、一気に円高が進みました。

今週は、NY市場後半の流れがどのあたりまで波及するかをまずは見極める必要がありそうですが、ウクライナ情勢の変化には注意したいところです。

ドル円の予想レンジは114円から117円です。

先週ユーロ円は、木曜日に133.148円まで円安が進んだものの、金曜日のNY市場後半には一気に130円台まで円高が進みました。

今週は、ウクライナ情勢に大きく左右されそうですが、ドル円よりもユーロに与える影響のほうが大きいかもしれません。

ウクライナ情勢の動向次第で、大きく乱高下する可能性も考慮する必要がありそうです。

ユーロ円の予想レンジは127円から133.5円です。

ポンド円もドルやユーロほどではないにしろ、ウクライナ情勢の影響を受けています。ただ、ドルやユーロの受け入れ先となっている状況もあるため、一概に大きくポンド売りが進むとは言い切れないようにも思います。

ポンド円の予想レンジは155円から158円です。

更にウクライナ情勢が悪化に進んだ場合、どの程度までユーロやドルの売りが進むのか、また、解決への方向に進んだ場合にはリバウンドがどのような形で起こるのか、なかなか、難しい判断を迫られそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。